

生活

旬のやさしい 高菜
 アブラナ科の野菜。西アジ
 ア原産で、種子からマスター
 ドを作るカラシナの一種で
 す。漬物のほか、油で炒めると
 滋味豊かで白米に合います。

くらしのこよみ
 うつくしいくらしかた研究所

◎ 東京新聞

● 遠隔画像診断

在宅患者がかかる病気で比較的
 多いものに皮膚疾患があります。
 中でも、寝たきりの方では、褥瘡
 (床擦れ)が皮膚の潰瘍にまで進
 んでしまうことがあり、治療に難
 渋します。こうした場合、皮膚科



在宅医療のカルテ

の先生に治療方法を聞いたり、診
 療に協力してもらっている訪問看
 護師と連携を取ったりするためにも
 画像情報を共有することは重要
 です。

近年、携帯電話や端末の進歩に
 より、手軽に高画質の写真を撮っ
 てインターネットで転送すること
 も可能になりましたが、医療画像
 については、個人情報であり、流
 出を防ぐ安全な環境でやりとりを
 することが必要です。特に、患者
 宅で撮影した写真を送るとなる

床擦れケアに活用

と、通常の院内で画像を撮影し閲
 覧すること以上にセキュリティ
 に配慮しなくてはなりません。
 当院では、経済産業省の「医工
 連携事業化推進事業」の一環とし



診療所で、送られてきた患者画像を確認する (一部画像処理)

て、この問題に取り組んでおり、
 通信会社や国立大学、がん研究セ
 ンターなどと研究グループをつく
 ってセキュリティを強化した画
 像転送共有システムを開発し、臨

床試験を行っています。

患者宅で携帯端末などによって
 撮影された画像は、ネット上の特
 殊なトンネルを通じて、第三者に
 盗み見られたり改ざんされたりす
 ることなく、大学のサーバーに保
 管されます。端末に画像を残さな
 いことも個人情報保護には重要で
 す。これを診療所にいる医師が閲
 覧することによって、患者の医療
 画像を元に診断や治療方針を決め
 ることができます。

Sさんは、この臨床試験に参加
 していただいている患者です。褥
 瘡の写真の検討により、外科的な
 処置が必要なることがわかりまし
 た。早速、壊死をした組織を除去
 し、訪問看護師による患部の処置
 を続けることになりました。

(川崎高津診療所院長)
 次回は三月三日掲載